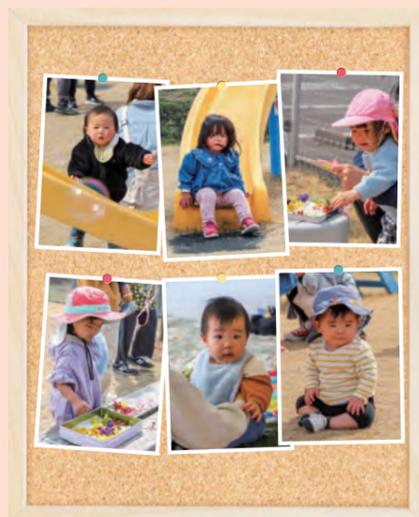


CONTENTS

- 05 昔々のそお市
- 06 **特集**  
未来へつづく子育てロードマップ
- 08 図書館だより
- 09 教育委員会だより
- 10 実は隣のスゴイ人
- 12 体操教室
- 13 健康なび
- 14 消費生活トラブル  
よろず支援拠点・手話
- 15 PICK UP
- 23 情報掲示板
- 25 プレゼントコーナー・お便り
- 26 相談場所の開設  
人の動き・医療費の状況
- 27 税チャンネル・国民年金のはなし
- 28 子育て支援センター  
マイナンバーカード休日申請・交付  
子牛せり市結果
- 29 カレンダー
- 30 戸籍の窓
- 31 休日当番医・薬局

今月の表紙



すえよし子育て支援センターへ遊びに来ていた子ども達を撮影しました。春の陽気の中、フラワーアートや遊具を楽しみ、笑顔があふれていました。

2月6日

松永安雄さんが藍綬褒章を受章



末吉町の松永安雄さんが令和7年秋の褒章・叙勲において藍綬褒章を受章されました。約20年にわたり保護司として活動し、犯罪を犯した人の社会復帰や再犯防止に尽力された功績が称えられ今回の受章となりました。

2月14日

第43回吉井淳二記念大賞展を開催



第43回吉井淳二記念大賞展が2月14日から3月1日まで末吉総合体育館で開催されました。会場には全国から寄せられた応募作品の中から選ばれた入賞作品1132点の作品が展示されました。

2月24日

Cクラス優勝！曾於チーム健闘



第73回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月21日から25日まで開催されました。曾於チームは24日に郷土入り。前半は先頭争いを見せるも日間4位、5日間の総合順位は8位でCクラス優勝を収めました。

2月3日

第3次総合振興計画第1期実施計画の答申を提出



曾於市総合企画審議会が2月3日に開催され、令和8年度から3年間に予定される施策・事業の審議が行われました。審議結果を踏まえ、山口裕之会長から市長へ答申が行われました。

2月9日

ナンチュクが「肉の日」に豚肉を提供



語呂合わせで「肉の日」にあわせて、株式会社ナンチュクから曾於地区の小中学校へ319kg（約6.4頭分）のゆずポークが無償提供されました。月野小児童は、給食で提供されたゆずポーク丼を美味しく味わっていました。

2月19日

民謡全国大会へ出場決定！



末吉町の村永奈央さん(中)が、(公財)日本民謡協会主催の民謡民舞鹿児島県連合大会で優勝し、全国大会出場の報告に講師の藤本千香さん(左)と来庁しました。村永さんは「曾於市総合大学のおかげ。全国大会でも頑張ります。」と話しました。

1月30日

鹿児島県堆肥コンクールで優秀賞を受賞



令和7年度鹿児島県堆肥コンクールが行われ、曾於市有機センター（下左2）の堆肥「森の華1号」が優秀賞を受賞しました。堆肥の購入は曾於市有機センター（☎0986-28-8440）までお問い合わせください。

2月7日

南極での経験から男女共同参画を学ぶ



男女共同参画推進の一環として魅力アップセミナーが末吉総合センターで行われ60名が参加しました。第57次南極地域観測隊調理隊員の渡貫淳子さんが講師となり、夢を叶えるための言動や適材適所の重要性を学びました。

2月17日

商工業の後継者に結婚祝金を贈呈



商工業後継者結婚祝金の贈呈式が市役所本庁で行われ1組に祝金が手渡されました。この制度は商工業後継者または新規就業者として夫婦となられた方に5万円を贈呈するものです。

3月3日

### 市営住宅建替・エリア開発の協定を締結



市は株式会社タナカホームと「市営住宅建替・エリア開発事業(SOOcial Ring)」の協定を締結しました。老朽化した市営住宅の再整備と、周辺エリアの魅力向上や生活機能の充実を図る「まちづくり事業」として取り組みます。

2月25日

### 地域の資源エネルギーを学び模擬選挙を体験



菅牟田小学校で選挙管理委員会が選挙出前授業を行いました。学校では今年度資源エネルギー庁の「地域におけるエネルギー教育実践事業」に取り組み、地球温暖化対策などを争点に本物の投票用紙を使った模擬選挙を実施しました。

3月3日

### 末吉中卓球部が全国の舞台へ



末吉中卓球部が第 68 回鹿児島県中学新人卓球大会で優勝し、3月28日に静岡県で開催される全国大会の出場を前に市長へ報告しました。選手達は「全国大会へ向けてチーム一丸となって頑張ります」と力強く話しました。

3月3日

### 株式会社久永に感謝状を贈呈



鹿児島市の株式会社久永から企業版ふるさと納税制度を活用した寄附があり、感謝状を贈呈しました。時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業に活用します。

3月6日

### 畑地かんがい用水を活用しバナナ栽培に挑戦



大隅町の小瀬健一さんが7畝のハウスでバナナ栽培に取り組んでいます。令和7年5月に植えた苗は順調に育ち1月下旬から県内の店舗へ出荷しています。栽培には曾於北部土地改良区の谷川内ダムから供給される畑地かんがい用水を活用。化学肥料を使わず竹や木材、もみ殻などの有機物を活用した無農薬栽培に取り組んでいます。今後の畑地かんがい用水のさらなる活用拡大も期待されます。



畑地かんがい用水を活用し、順調に育つバナナ